

報道関係者各位

2023年11月1日

株式会社ヒット

2面1セットの巨大屋外デジタルサイネージが池袋駅前に誕生！
『池袋ヒットビジョン』が2023年11月6日（月）より正式稼働
～おなじみの「秋田犬」に加え「フクロウ」が登場する“肉眼3D動画”も公開～

屋外広告を専門に取り扱う株式会社ヒット（本社：東京都中央区、代表取締役社長：深井 英樹、以下「ヒット」）は、池袋駅東口エリアに屋上と壁面に設置した上下2面の大型ビジョン（合計363.1㎡）にて常時シンクロ放映を行う大型屋外デジタルサイネージ『池袋ヒットビジョン』を新設、2023年11月6日（月）より正式稼働いたします。また、ヒットの保有する屋外デジタルサイネージではおなじみとなった“3D秋田犬”と一緒に、今度はフクロウが毎正時（毎時0分）をお知らせする『巨大3Dカラクリ時計』を放映開始いたします。



正式稼働する『池袋ヒットビジョン』で放映される『巨大3Dカラクリ時計』動画（画面は開発中のものです）

■『池袋ヒットビジョン』について

池袋駅はビジネス、ショッピング、そしてカルチャーが集まる日本有数の乗降客数を誇る巨大ターミナルであり、その池袋駅の東口を出てすぐに視野に入る『池袋ヒットビジョン』は屋上と壁面に設置した上下2面の大型ビジョンを1セットとして常時シンクロ放映を行えることから、インパクトのある広告展開を様々なクライアント様に向けて提供できます。

『池袋ヒットビジョン』の特徴

① 上下に分かれた特徴的な画面構成

屋上と壁面でのシンクロ放映を常時行う、2面1セットの広告用デジタルサイネージです。2面合計 300 m²以上の大型サイズを誇る当媒体ならではのオンリーワンの広告展開を実施可能です。



② 幅広い年齢層がターゲット

日本有数の乗降客数を誇る巨大ターミナルである池袋駅の東口の目の前に位置。駅を中心に大型商業施設が集中していることから、ショッピングなどで若者から大人まで幅広い世代に利用されているエリアです。加えてサンシャイン通りには銀行や生命保険会社など大手企業の本社ビルも多く、ビジネスマンが日常的に行き交う場所でもあります。

池袋駅東口より明治通りを挟んで真向いに位置します▶

※早朝テスト時に撮影



③ アニメカルチャーの中心地

池袋はアニメイト本店などアニメグッズや関連商品を取扱う店舗が多く集まる“乙女ロード”など、日本のアニメカルチャーの中心地となっています。また豊島区が「国際アート・カルチャー都市構想」を推進していることから、アニメだけでなく演劇やアート、マンガ等を中心に盛り上がりを見せており、日本ならではの体験を求めるインバウンド層の利用も増えています。

名称	池袋ヒットビジョン
エリア	池袋駅東口周辺エリア
仕様	高精細フルカラーLED 10mm ピッチ
サイズ	屋上 (H) 12.48m× (W) 21.12m 壁面 (H) 11.52m× (W) 8.64m 2面1セット 計 363.1 m ²
放映時間	7時～24時 (17時間放映)
音声	あり ※変更の可能性あり

■『池袋ヒットビジョン用“秋田犬”3Dカラクリ時計』について

今回『池袋ヒットビジョン』で放映する動画は『巨大 3D カラクリ時計』。ヒットの看板犬である「秋田犬」と池袋の街のシンボルである「フクロウ」が登場して毎正時（毎時 0 分）をお知らせします。上下 2 面の大型ビジョンを動き回り、ときには肉眼 3D で飛び出す 30 秒の動画は池袋の新たな名物となるのでは！？



<見どころ>

- ・今回は鳩時計ならぬ「フクロウ時計」で毎時 0 分をお知らせします
- ・スチームパンクのメカニカルな世界に登場した秋田犬はスイッチやレバーに興味津々な様子で、なにやらいたずらを始めます
- ・秋田犬がボールのついたワイヤーを引っ張るとフクロウが落下する演出など、上下のビジョンの連動性にもぜひご注目ください

■ヒットについて

屋外広告（ビルボード）を専門に取り扱う広告会社として 1991 年に創業。広告メディアの力で世界を変えるべく、業界に先がけた新しい取組みに常にチャレンジし続ける、屋外広告のリーディングカンパニーです。

<会社概要>

代表取締役社長：深井 英樹

所在地：東京都中央区銀座 6 丁目 17-1 銀座 6 丁目 SQUARE ビル 10 階

設立：1991 年 2 月

URL：<https://www.hit-ad.co.jp/>